

瀬長島付近海域における急潮流観測

平成16年2月24日の大潮の低潮（干潮）時に瀬長島付近海域において、急潮流観測を実施した。観測方法は、測量船搭載の超音波流速計（ADCP）での流向流速の観測及びオーブコムブイ・DGPSブイによる漂流観測を行った。

1. 観測海域

測点図に示すとおり

2. 使用船舶等

測量船「おきしお」及び搭載艇
業務用自動車 一台

3. ADCP 観測結果

ブイを漂流した時間に合わせて、低潮前・後の2回観測をおこなった。結果を第1, 2図に示す。

低潮前は、全体的に南流であり、最大で1kn程度の流れであった。

低潮後も同様に全体的に南流であり、最大で1.5kn程度の流れであった。

4. 漂流観測結果

2月24日の低潮15時46分頃にあわせて、低潮前・後の2回、2地点（測点A, B）で同時に観測を行った。結果を第3, 4図に示す。

観測中、瀬長島付近の海域は穏やかで南東寄りの風2～3m/sと弱く、ブイの漂流には風の影響は無いものとした。

低潮前後の流れは、両測点ともに約0.3knの速さで北西方へ流れた。

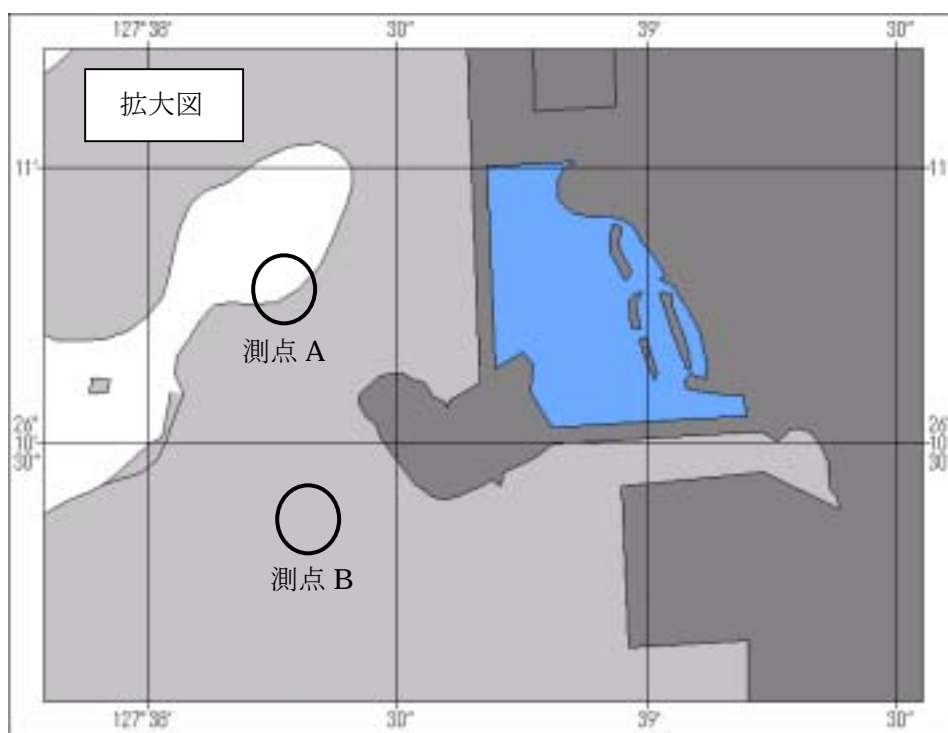
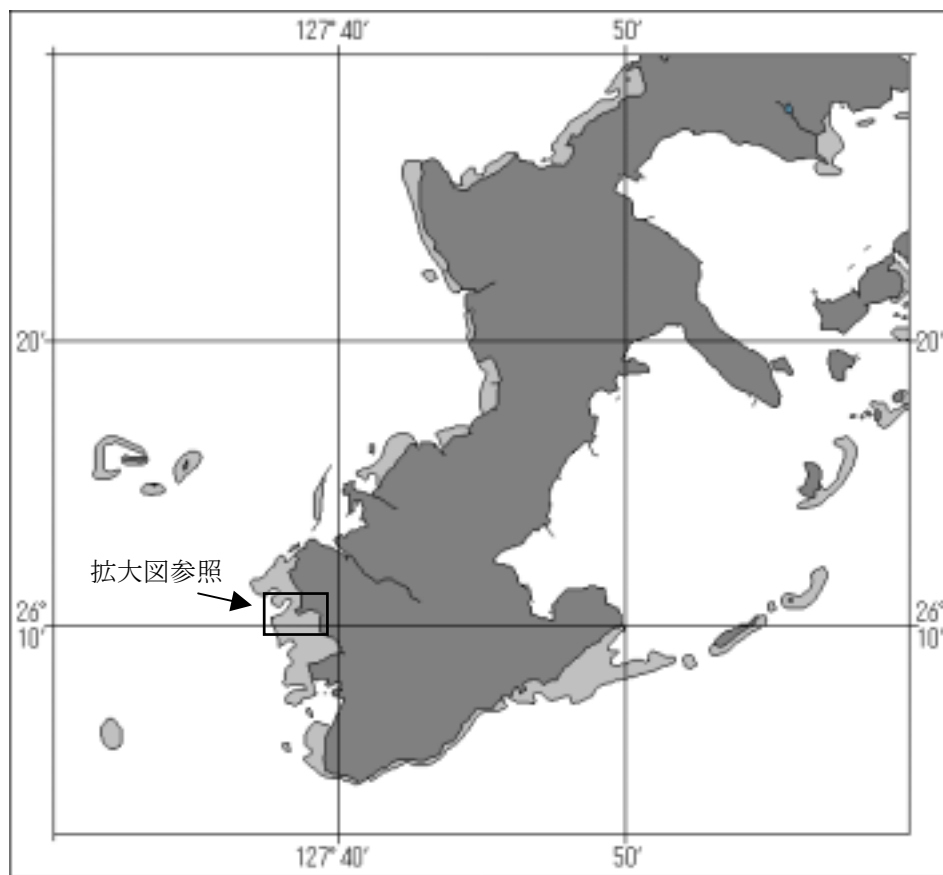
5. まとめ

今回の観測海域である瀬長島付近海域は、市街地から近いということもあって、観光客や地元の人で賑わう人気のスポットである。また、低潮時には大きな浅瀬ができ、潮干狩り客も多数みられる。

今回の観測では、低潮を挟んで1～2時間は北西方へ流れるという結果になった。このことから、低潮時（最干潮）付近における瀬長島西側の礁内の流れは南方から流入し、北方へ流れるのではないかと推察される。

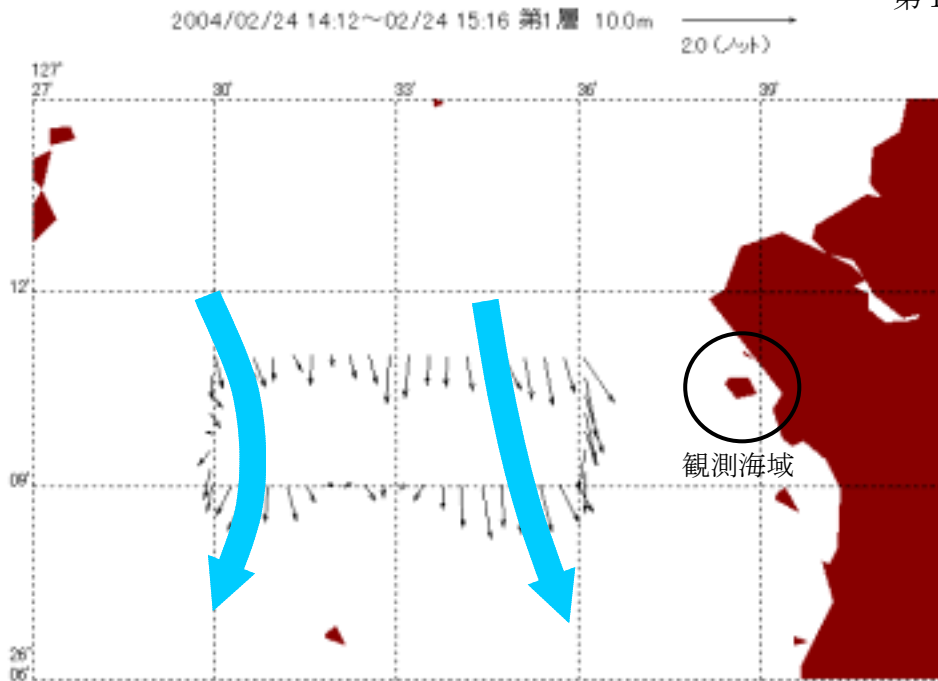
一方、瀬長島付近海域（礁外）では以前の調査から低潮前は南向きの流れがあり、低潮後は北向きの流れになることが観測されている（潮流推算図参照）。また、沖合の流れは1～1.5kn程度の強い南方向の流れがあり、沿岸部の北方向への弱い流れとは、まったく異なった様相を示しているので注意が必要である。

測点図

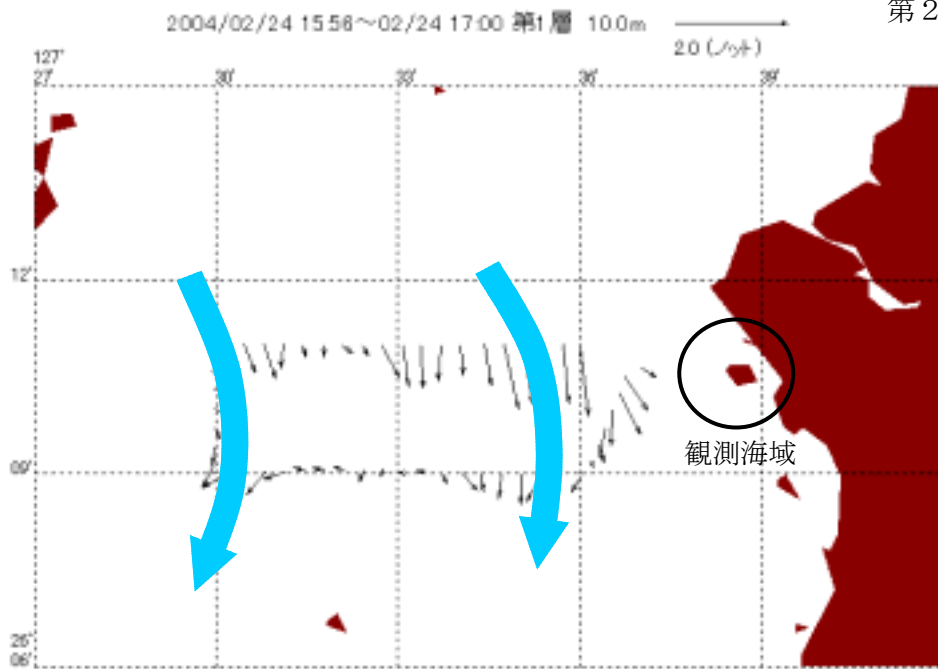


ADCP 観測結果

第1図

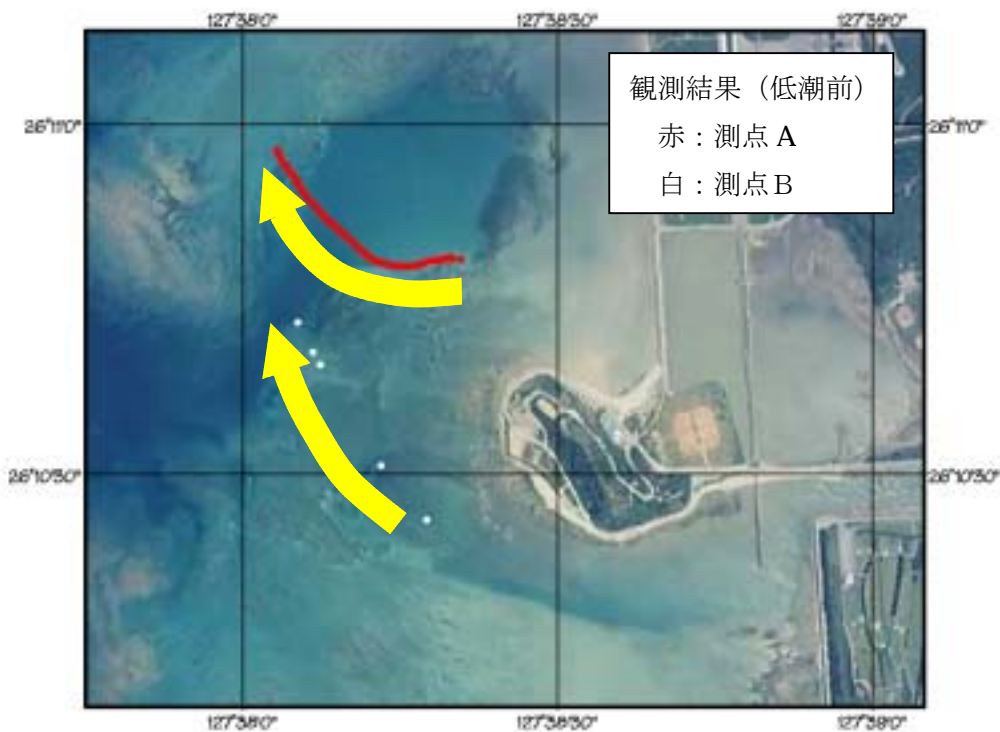


第2図

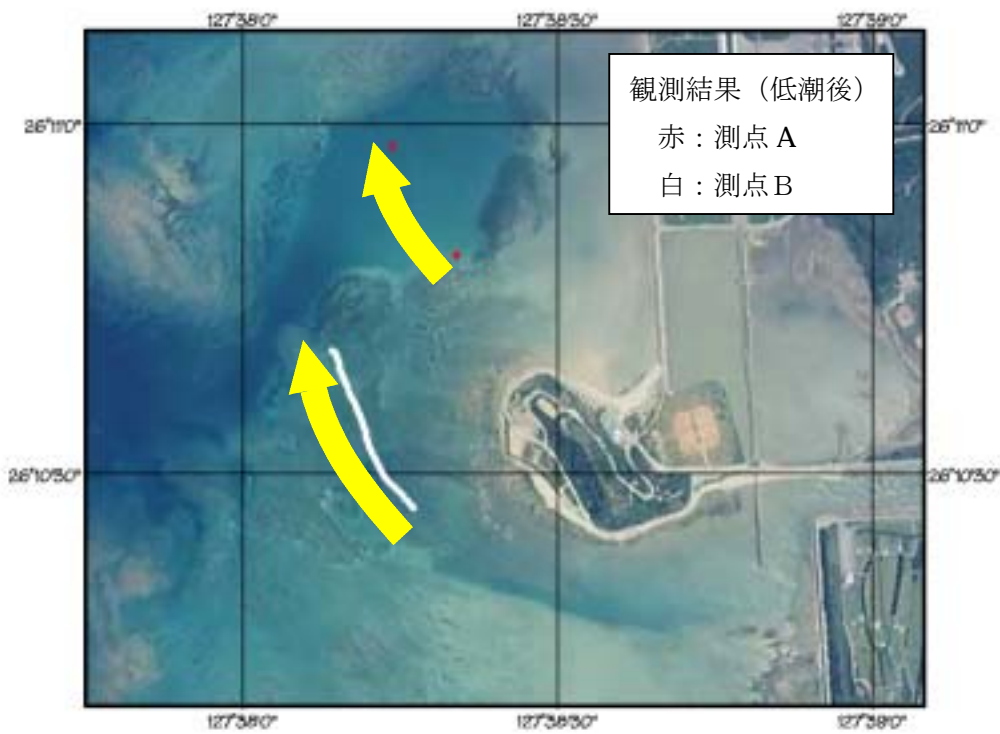


漂流観測結果

第3図



第4図



潮流推算結果

